

クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内



TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和4年12月 第160号

障がい者スポーツ鳥取モデル構築事業*サンリンク・スポーツ



令和4年11月5日(土)、鳥取県立倉吉養護学校体育館で「障がい者スポーツ鳥取モデル構築事業*¹」(鳥取県障がい者スポーツ協会委託事業)で「ボッチャ*²」を開催しました。

※1目的:特別支援学校の学校体育施設を拠点として、特別支援学校の在校生及び卒業生、地域住民が、障がいのあるなしに関わらずスポーツの楽しさを共に味わいながら、体力の向上や豊かな生活の実現、共生社会の実現を目指す。

※2ボッチャ:ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたりしながら、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

【参加者】生徒 8名、大人 16名

【指導者】杉谷哲治さん、平井明朗さん、桑名優子さん

参加者を6グループに分け、総当たり戦で1試合4エンドで対戦しました。最初にジャンケンで先攻・後攻を決め、勝ったチームがジャックボールを投げ、同じ人が赤球を投げます。次に相手側の青球のチームが投げます。

2投目以降は、ジャックボールから遠いチームが投げます。赤青どちらが遠い距離にあるかは審判が判断し、パドルで選手に伝えます。

両チームが全てのボールを投げ終わった時点で1エンドが終了で得点をつけます。これを4エンド繰り返して勝敗を決めます。ジャックボールに赤青の球が集中する場面が多く接戦でした。

参加者全員にとっても楽しんでいただけました。



連絡先

サンリンク・スポーツ事務局 杉谷 哲治

TEL:090-6436-9196

E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

令和4年度 県民まるごとスポーツ推進事業「親子deスポーツ」



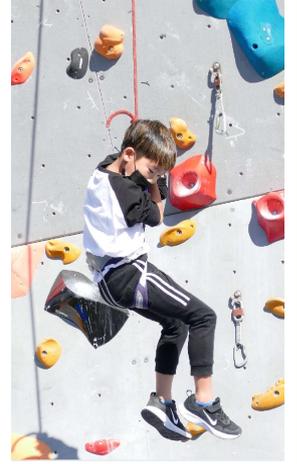
ハーネス装着



ビレイヤーさん



手と足が離れる～



楽しいロープでの降下

令和4年11月6日(日)、倉吉スポーツクライミングセンターで、NPO法人かほくスポーツクラブ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:親子deスポーツ」・「親子スポーツクライミング体験教室」を開催しました。

【参加者】 1部 12名、2部 26名

【指導者】 山脇昭彦さん・彩さん、北川夕季さん、奥谷陵矩さん、福光由香里さん・河上紘輝さん
(※鳥取県山岳・スポーツクライミング協会会員)

参加者をボルダリング(室内)とルートクライミング(屋外)の2つに分け、講師の方から注意事項とルール説明を受けた後、ルートクライミングはハーネスを装着して、講師の指導を受けながら挑戦しました。

初めて体験された方も、継続して参加された方も、高い所まで登られる方やゴールする方が多く驚きました。(即大会に出られそうな腕前でした。)

腕に乳酸が溜まりもう限界と言いつつも何度も挑戦されていたり、登り方がもうプロの方が居られ、難しいコースも攻略され、羨望の眼差しが集まっていました。

最後に、小・中学生によるルートクライミングのデモンストレーションがあり、傾斜のある壁を登っていると思えないスピードと身軽さでゴールし、参加者から歓声があがっていました。

【参加者の声】

- ・ルートクライミングは次にどのホールドを掴もうかと思いつながら登っているけど、足を置くホールドを確認する際下を見た時に、あまりの高さに怖くなりますが、ゴールした時の達成感は何ともいえず、また、登ってしまいます。
- ・何回かやっているルートを見たら、どのホールドを掴むか、足を置くかわかるようになり、ゴールまで体力が持つようになりました。達成感が何ともいえないです。



ゴールを目指す



あっダメか～



おっかね～



簡単にゴール

連絡先

NPO法人かほくスポーツクラブ事務局

徳丸 宏則

TEL:0858-24-6465 E-mail:kssougou@apionet.or.jp

令和4年度 県民まるごとスポーツ推進事業「親子deスポーツ」



脚がしっかりついているかな



太鼓みたいだね



ウォーキング

令和4年11月26日(土)、中郷体育館(青谷町)で、今年度5回目の「県民まるごとスポーツ推進事業:みんなdeユニスポ」で「あおやまるごとスポーツ体験会“みんなでジャンプ”トランポ・ロボックス」を体験しました。

【参加者】 25名

【指導者】 磯邊栄里さん、山本智美さん(補助)

最初に、指導者の磯邊栄里さんから諸注意があり、参加者全員で自分が使用するミニトランポリンの脚がしっかり固定されているか確認してから体験会をスタートしました。

まずは、ミニトランポリンを手で叩いてみたり、座ったりしてミニトランポリンの感触を確かめ、トランポリンに座ってお尻で弾んだり、ウォーミングアップをしたり、姿勢の確認をして、歩いたり、ジャンプしたり、音楽に合わせて動いてみました。

メニューの中に、歩きながら左右の手の動きを変えて頭の体操も同時にできる動きがあり、中には苦手な人も・・・。(私もでした。)

最後に、ミニトランポリンを連ねてその上を歩いたり、ジャンプしながら渡り、みんな上手に跳べていました。

みんな笑顔で楽しそうにしてくれていたのが印象的でした。

【参加者の声】

- とつても楽しかった。またやりたい。
- 子育てで忙しく動いていても、スポーツをする機会が無いので、子どもと楽しくできるのが良かったです。



左右違う手の動きに混乱



ミニトランポリンを連ねて歩く



ミニトランポリンの上でクールダウン



集合写真

連絡先
青谷スポーツクラブ事務局
安達 富由樹
TEL:090-8716-2968
E-mail:k_hasegawa@ncn-t.net

令和4年度 県民まるごとスポーツ推進事業「みんなdeユニスポ」



【モルックを投げている様子です】



令和4年11月27日(日)、新日本海新聞社中部本社で、サンリンク・スポーツ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:みんなdeユニスポ^{※1}」でユニバーサルスポーツの体験会を実施しました。

※1 狙い:年齢や性別、障がいの有無に関わらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

今回は、小学生から高齢者の方が参加し、モルック^{※2}を体験しました。

※2 モルックは、モルックと呼ばれる木の棒を投げて、スキttl(木製のピン)の倒れた合計得点が50点ぴったりに得点したチームが勝ちとなるゲームです。

初心者の方も居られたので、投げ方やルール説明を聞いた後、少し練習をした後、3人ずつのグループに分かれチーム戦で総当たり戦を行いました。

チームで作戦を立てながら、50点目指して真剣且つ楽しみながらスキttlを狙って投げました。

3回連続スキttlに当たらなければ失格になるので、2回連続でスキttlに当たらなかった時に、3回目に投げる人にかかるプレッシャーはもの凄いものがあり、緊張の中投げて回避できる時もあれば、プレッシャーに負けて当てることができず失格になる時もありましたが、とても盛り上がりました。

あっという間に総当たり戦が終わってしまい、不完全燃焼の方が多かったため、チーム編成を行い時間が許す限りゲームを続行しました。

派手な動きはありませんが、終わった後は、思った以上に汗をかき、結構な疲労感がありました。

初めてあった人でもスポーツを通して仲良くなれ、何度か一緒にスポーツをすることで更に親しくなり、スポーツの持つ力って改めて凄いなあと思いました。

今年度のサンリンク・スポーツの当事業は終了しましたが、また、クラブが企画する事業に参加いただけると嬉しいです。

連絡先
サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

令和4年度鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア 中部サテライトセンター整備事業＊サンリンク・スポーツ

【11月10日(木)】



近くまで届いて～



次は寄せてね！



計測です

令和4年11月10日(木)・24日(木)、倉吉スポーツセンターで「令和4年度鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア中部サテライトセンター整備事業＊1」として、サンリンク・スポーツ主催でニュースポーツ教室を開催しました。

※1 目的:鳥取県中部地区において、障がい者が気軽にスポーツをすることができる環境の整備を行い、障がい者のスポーツ実施をサポートする。障がい者スポーツ教室を実施することにより、それをサポートする人材を育成する。障がい者と健常者、子どもから高齢者まで、誰もが共に・気軽にスポーツに楽しめる環境を整備、提供を行う。

11月は、「ボッチャ＊2」を体験していただきました。

※2 ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

1チーム2名又は3名ずつの4グループに分かれ総当たり戦を行った後、チームメンバーを入れ替え更に総当たり戦を行い順位を決めました。

大差で勝敗が決まる試合もあれば、接戦になり延長戦になる試合もあり、白熱した試合が行われました。

得点を確認する時は、皆が投げ終わった球の周りに集まり、どちらの球がジャックボールに近いか確認しました。

チームで作戦を立てて、上手く投げられた時は盛り上がり、相手に有利になるような投球の時は落ち込んだりと、一喜一憂しながら楽しみました。

1月は12日(木)・26日(木)にモルックを開催する予定です。

【11月24日(木)】



ジャックボールを投げます



青は寄せたい所です



赤の方が近いですね

連絡先:サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

中国ブロッククラブネットワークアクション2022



集合会場(セントコア山口)の様子



NPO法人鹿の助スポーツクラブの谷ロー真さん:オンラインで事例発表

令和4年11月12日(土)、セントコア山口(山口市)で「中国ブロッククラブネットワークアクション2022」が開催されました。

【趣 旨】 ブロック内の総合型地域スポーツクラブ関係者が一堂に会し、総合型地域スポーツクラブの運営に必要な情報や課題解決に向けた具体的な取り組み事例等について情報共有を行い、クラブ育成・支援のためのネットワーク強化と各都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会間の連携体制をより一層促進する。また、令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行が円滑に行われるよう、部活動改革に関する情報提供や実践例の紹介を実施する。

併せて、新たな地域課題について、総合型クラブ・地域・学校等との新たな共創の在り方や事業展開を考える機会とする。

【主 催】 公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)

【主 管】 中国ブロッククラブネットワークアクション実行委員会

【後 援】 スポーツ庁

【参加人数】 77名(集合49名、オンライン28名)(鳥取県:スポnetなんぶ・若桜クラブ・青谷スポーツクラブ)

【内 容】

- ① 共通プログラム:「運動部活動改革について情報共有」
・スポーツ庁地域スポーツ課から、「運動部活動の地域移行と地域スポーツ環境の整備について」これまでの経緯・取り組み、概要について、地域移行の事例、目指す姿について情報提供があった。
- ② 共通プログラム:「公立中学校等部活動改革についての山口県の取組」
発表者:山口県教育委員会学校安全・体育課学校体育班指導主事 杉山喬洋氏
発表者:美祢市教育委員会学校教育課課長 渡辺義征氏
- ③ 開催県独自プログラム:事例発表「文化・スポーツを通じたコミュニティづくり」
発表者:山陽小野田市市民部文化スポーツ推進課係長 三浦裕氏
山陽小野田市立竜王中学校校長 山本敦士氏
- ④ 開催県独自プログラム:事例発表「総合型地域スポーツクラブと学校部活動の連携」
発表者:NPO法人鹿の助スポーツクラブ代表理事 谷ロー真氏(鳥取県)
発表者:一般社団法人スポーツリンク白川クラブマネージャー 渡辺靖代氏(岐阜県)
- ⑤ 開催県独自プログラム:講演「地域づくりと地域学校協働活動」
講 師:NPO法人ほほえみの郷トイトイ、コミュニティスポーツクラブあとう事務局長 高田新一郎氏(山口県)
- ⑥ 日本スポーツ協会からの情報提供
・第3期スポーツ基本計画の概要、運動部活動の地域移行を踏まえた日本スポーツ協会の取組について情報提供があった。

今回久々に現地で多くの懐かしい方々との出会い、情報交換ができました。来年度は鳥取県開催です。今大会と同じく、ハイブリッド方式で開催予定です。是非多くのクラブ関係者に参加いただき盛り上げていただけると嬉しいです。



「ウエル蟹!!!」
長谷川会長から挨拶